

29TM-pm01

藿香および冠唇花精油由来成分の吸入投与による活性について

○伊藤 謙¹, 伊藤 美千穂¹(¹京大院薬)

【目的】 藿香(*Pogostemon cablin* BENTH.)ヘキサンエキス及び patchouli alcohol を主成分とする冠唇花(*Microtoena patchoulii*)の新鮮葉から得た蒸留画分の吸入による鎮静作用を、マウスの自発運動量を指標に検討し、藿香ヘキサンエキスより patchouli alcohol および diacetone alcohol を、冠唇花新鮮葉蒸留画分より 1-octen-3-ol および terpinolene を活性化化合物として見いだした。特に強い活性を有する、①diacetone alcohol および②terpinolene の構造活性相関について検討を行ったので報告する。

【方法】 自発運動能の測定は以下の要領で行った。試料を triethylcitrate に溶解し、全量を 400 μ L としたものを濾紙に吸着させ、ガラス水槽(W60×L30×H34 cm)内にテープで固定し、自然拡散で香りを60分間充満させた後、マウスを水槽内に投入、その行動をビデオカメラにより60分間撮影、解析した。自発運動量は、水槽底面に 10 cm 間隔で描かれた線をマウスが横切る回数を数え測定値とした。

【結果・考察】 Diacetone alcohol および terpinolene とそれらの類縁体化合物について検討を行った結果、diacetone alcohol の活性にはケトン基が、terpinolene の活性には側鎖二重結合が、寄与している可能性が示唆された。現在、作用機序等の詳細について検討中である。

